

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	陽光ホーム	評価対象年度	平成24年度
事業者名	・事業者名 社会福祉法人育桜福祉会 ・代表者名 生亀 洋子 ・住所 川崎市中原区西加瀬10番3号	評価者	障害計画課長
指定期間	平成21年4月1日～平成26年3月31日	所管課	健康福祉局障害保健福祉部 障害計画課

2. 事業実績

利用実績	共同生活援助・共同生活介護（定員 16名）在籍者 14名（平成25年3月31日現在） 地域生活体験事業（定員 1日2名）延利用日数 180日																																										
収支実績	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">収入</th> <th colspan="2">支出</th> <th rowspan="2">収支差額</th> </tr> <tr> <td>経常活動</td> <td>74,244,210円</td> <td>経常活動</td> <td>66,277,839円</td> <td>7,012,484円</td> </tr> <tr> <td>自立支援費等</td> <td>27,617,467円</td> <td>人件費</td> <td>56,211,142円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>利用料</td> <td>8,760,260円</td> <td>事務費等</td> <td>3,217,795円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>指定管理料</td> <td>27,392,400円</td> <td>事業費</td> <td>6,848,902円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>川崎市独自扶助</td> <td>9,721,168円</td> <td>施設整備等</td> <td>268,387円</td> <td>※指定管理料</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>752,915円</td> <td>財務活動</td> <td>685,500円</td> <td>27,392,400円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>74,244,210円</td> <td>合計</td> <td>67,231,726円</td> <td></td> </tr> </table>	収入		支出		収支差額	経常活動	74,244,210円	経常活動	66,277,839円	7,012,484円	自立支援費等	27,617,467円	人件費	56,211,142円		利用料	8,760,260円	事務費等	3,217,795円		指定管理料	27,392,400円	事業費	6,848,902円		川崎市独自扶助	9,721,168円	施設整備等	268,387円	※指定管理料	その他	752,915円	財務活動	685,500円	27,392,400円	合計	74,244,210円	合計	67,231,726円			
収入		支出		収支差額																																							
経常活動	74,244,210円	経常活動	66,277,839円		7,012,484円																																						
自立支援費等	27,617,467円	人件費	56,211,142円																																								
利用料	8,760,260円	事務費等	3,217,795円																																								
指定管理料	27,392,400円	事業費	6,848,902円																																								
川崎市独自扶助	9,721,168円	施設整備等	268,387円	※指定管理料																																							
その他	752,915円	財務活動	685,500円	27,392,400円																																							
合計	74,244,210円	合計	67,231,726円																																								
サービス向上の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の中で生活するために必要な技術と能力を養えるように、関係機関と連携し、利用者と時間をかけてコミュニケーションを取り、利用者が将来の生活を考えられるよう支援している。 ・関係機関や近隣施設と協力し、災害時の連携に加え、施設が閉鎖的にならないように利用者にとって風通しの良い環境づくりに取り組んでいる。 ・地域生活体験事業としては、利用者の地域移行を促すように、実際の生活をイメージできるような支援を行っている。 																																										

3. 評価（評価段階:5～1,標準:3,加点割合:5→100%,4→80%,3→60%,2→40%,1→0%）

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
総合的な運営状況	利用者への支援	利用者に対する支援を着実に実施しているか	10	4	8
		利用者の障害特性に応じた個別支援等を実施しているか			
	事業成果	基本協定に規定する業務の範囲を適切に実施しているか	10	4	8
		指定管理施設としての事業目的を達成することができたか			
(評価の理由) ・個別のニーズに合わせ、時間をかけてコミュニケーションを取りながら利用者に対する支援を着実に実施している。 ・利用者が自立した日常生活を営むことができるよう支援した結果、地域のホームに移行した利用者を輩出し、他の利用者も地域のホームへの移行に関心を持つようになった。					
収支状況	支出状況	計画に基づく適正な支出が行われているか	5	3	3
		支出に見合う効果等が図られているか			
	収入状況	計画通りの収入が得られているか	5	3	3
		条例に基づく利用料等を適切に徴収しているか			
	適切な会計手続	会計基準に基づく会計処理がなされているか	5	4	4
		事業収支に関して適正な会計処理が為されているか			
(評価の理由) ・指定管理料と給付費等により運営が行われており、また、予算に沿った支出がなされ、経営状態は良好な状況となっている。 ・法人内部事務局で確認するチェック体制を整えるとともに、公認会計士による監査を実施し第三者によるチェック体制を整えている。					
サービス体制	適切なサービスの提供	提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	10	4	8
		利用者への支援を適時かつ十分に行っているか			
	サービス向上への取組み	現状分析、課題把握等を常に行っているか	5	3	3
		サービス向上に向けた取組みがなされているか			
	利用者の意見・要望への対応	意見・要望の収集方法を確立しているか	5	4	4
		利用者からの要望や意見に対して、迅速かつ適切に対応しているか			
(評価の理由) ・利用者と直接関わる世話人も個別支援会議に参加し、個々の状況や希望に合わせた個別支援計画を作成して、利用者への支援を適時かつ十分に支援を行っている。また、支援計画以外の内容についても必要な支援を適時かつ十分に実施している。 ・利用者との月1回の面談にとどまらず、関係機関との連携によってホーム以外の場でも利用者が意見要望を言える場を提供するなど、「意見・要望」の把握に努めている。					

組織管理体制	適正な人員配置	必要な人員が必要な場所に適切に配置されているか	5	3	3
	連絡・連携体制	所管課との連絡・連携が十分に図られているか			
	担当者のスキルアップ	業務知識や安全管理、法令遵守に関する研修等が行われているか	5	3	3
	安全・安心への取組	事故、犯罪、災害等から利用者を守ることができる適切な安全管理体制となっているか(人員配置、マニュアル、訓練等)	5	3	3
		緊急時の連絡体制を構築しているか			
	コンプライアンス	法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用が為されているか	5	3	3
職員の労働条件・労働環境	スタッフが業務を適正に実施するための、適切な労働条件や労働環境が整備されているか	5	3	3	
(評価の理由) ・整備された各種マニュアルに基づき運営され、より適切に動きが取れるよう各種マニュアルの見直しを行っている。 ・一昨年の大震災に際して個別施設での対応に限界を感じた経験をもとに、近隣施設との災害時の連携のため、井田地区の他の施設と緊急時に連携をとれるように協定を締結し、年3回会議が開催されている。					
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	5	3	3
	管理記録の整備・保管	業務日誌・点検記録・修繕履歴等が適切に整備・保管されているか	5	3	3
	清掃業務	施設内及び外構の清掃が適切に行われ、清潔な美観と快適に利用できる環境を維持しているか	5	3	3
	警備業務	施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件・事故・犯罪等の未然防止に役立っているか			
	備品管理	設備・備品の整備や整頓、利用者が使用する消耗品等の補充が適切に行われているか	5	3	3
(評価の理由) ・各種保守、点検等について、適切に実施されている。 ・備品、消耗品を分類し、保管場所を限定することで、保管場所を明確にしてどの職員が入っても備品の状況がすぐわかるようにしたこと、備品の在庫の管理が迅速に行え、発注も計画的に行えるようになった。					

4. 総合評価

評価点合計	68	評価ランク	C
-------	----	-------	---

評価点合計:100点満点,標準点:60点

評価ランク:A~E,標準::C,A→90点以上,B→80点以上90点未満,C→60点以上80点未満,D→40点以上60点未満,E→40点未満
 A→特に優れている,B→優れている,C→適正である,D→改善が必要である,E→問題があり適切な措置を講じる必要がある。

5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

- ・日常のコミュニケーションの中で利用者の状況を把握しているだけでなく、ホームが閉鎖的にならないよう利用者がホームの外でも意見要望を言える場を提供するため関係機関と連携している。
- ・利用者のニーズに合わせた支援計画を立てて支援し、利用者が将来の生活を考えられるように工夫された質の高い支援している。

6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

- ・さらなるサービス向上を目指し業務を改善していくこと。
- ・桜の風と連携し、地域移行をめざすために地域生活体験事業を活用すること。
- ・職員数が限られているが、世話ををはじめ全ての職員が自身のスキル向上のため、研修に積極的に参加し、さらに支援の質の向上につなげること。